

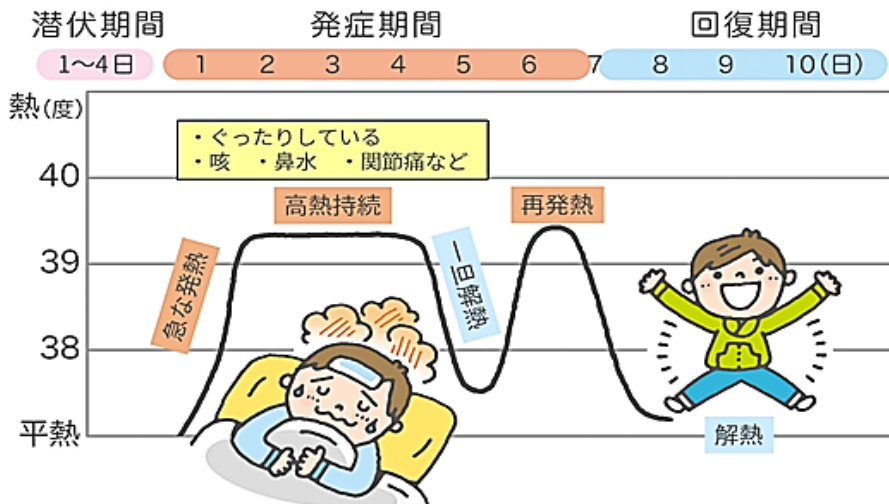


ほけんだより 11月号

2024年11月1日
昭和ナースリー
看護師

気をつけよう！ インフルエンザ

インフルエンザの典型的経過（二峰性の発熱）



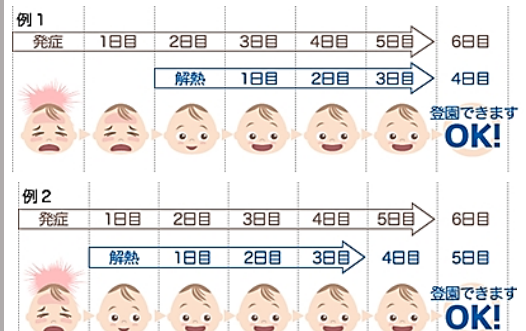
子どもは的確に訴えることができず「元気がない」「機嫌が悪い」といった状況が続きます。また、ワクチンを打っている場合など、高熱や症状が出ない時もあります。なにかいつもと違うな？と感じたら受診・検査されることをおすすめします。

インフルエンザによる 登園停止期間について

インフルエンザ発症後、登園可能になるには下記の2つの条件を両方、満たさないといけません。

- 発症後5日が経過していること
- 解熱後3日が経過していること

（症状が出現した日、解熱した日を0日目）



治癒後の登園時には、【登園届】（保護者記入）を提出してください。

インフルエンザ予防接種について

乳幼児がインフルエンザにかかると、高熱で脱水のリスクや、稀にインフルエンザ脳症等の合併症を起こすこともあります。上記の症状がある場合は、早めの受診で重症化を防ぎましょう。

インフルエンザ予防接種は、生後6カ月から12歳以下が2～4週間空けて2回接種、13歳以上が1回接種となります。接種後、実際にワクチンが効果を発揮するまでに約2週間かかるため、インフルエンザの流行までに接種を終えることが効果的です！

昭和ナースリー10月感染症報告

- マイコプラズマ肺炎 1名（くま組）
- RSウイルス 2名（うさぎ組）
- 突発性発疹 1名（ひよこ組）

子どもの冬の服装

下着(肌着)を着る

保温性・吸湿性を考えると、綿100%で半袖のものが良さそう。ただ、古くなると目が詰まって保温力が低下します。子どもは1日に1Lの汗をかきと言われており、汗をかいたり汚れたら、こまめに着替えましょう。

生後6か月～15歳の子どものインフルエンザ予防接種の助成金が今年から増額しました！助成期間は来年1/31までです。
1回あたり2,000円が助成されます！（昨年までは1000円助成）

子どもの動きを妨げない洋服

保育園での服装は「活発にあそべる」という点を優先して頂きたいと思います。裏起毛や厚手のトレーナー・ズボン、長すぎる袖や裾の洋服は、子どもの動きを妨げてしまうことがあります。また、園内はエアコンと床暖房を併用しているため、かなり暖かくなることも。裏起毛タイプは、汗を吸い取らず身体が冷えてしまう可能性があります。

自分で着脱しやすい洋服

1歳児以上は、自分で！と頑張って自分で着替えることが増えてきます。